

# 雜 報

## ◎人 事

岡山醫科大學臨時附屬 數 野 太 郎  
醫學専門部教授  
九級俸下賜 (2月6日)

北海道廳技師 清 水 光 治

依願免本官

一級俸下賜 (2月15日)

○木口浩三君 廣島市河島町縣立健康相談所へ  
轉勤

○田村宜君 香川県大川郡饗水村字西村 136  
ノ2へ轉居

○右近文三君 大阪府北河内郡枚方町陸軍造兵  
廠枚方病院へ轉勤

○三好功君 吳市西二河通り3丁目濟生會産  
婦人科へ轉勤

○八木日出雄君 岡山市國富御堂町へ轉居

○井上秋雄君 大阪市港區三條通り4丁目港病  
院へ轉勤

○淺山秀夫君 京都市上京區出雲路立本町108  
ノ25へ轉居

○渡邊武君 盛岡市菜園龜樂町23へ轉居

○木田秀三君 山口縣吉敷郡東岐波村山陽莊へ  
轉居

○玉尾延忠君 尼崎市昭和區北通4丁目116尼  
崎共立病院へ轉勤

○山上進君 金澤市御歩町一番町15高津様  
方へ轉居

○清水光治君 神奈川縣高座郡相模原町座間入  
谷へ轉居

## ◎學位授與

豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求中  
なりし伊藤篤彦、木村規矩志の2君は2月8日附、  
小田郭太郎、越宗正、片岡穆の3君は2月17日

附、磯川恕介、吉良良吉の2君は2月22日附を  
以て同大學より醫學博士の學位を授與せられたり、  
其の論文下記の如し

## 伊 藤 篤 彦 君

主論文

人胎兒尿=關スル研究

岡山醫學會雜誌第54年第9號發表

參考論文

其ノ1 分娩時母體=注射セル「アクチゾール」  
ノ胎兒尿=排泄サルル時間的關係=就テ

岡山醫學會雜誌第54年第12號=發表

其ノ2 早産兒未熟兒哺育=應用セル紫外線赤  
外線腹部照射

附. 赤外線照射=ヨル生下時體重1250g早

産兒ノ哺育成功例

岡山醫學會雜誌第54年第11號=發表

其ノ3 新産兒皮膚清淨法=就テ

産科婦人科紀要第23卷第11號=發表

其ノ4 妊婦血液輸血=依ル無月經療法

中央醫學第9卷第3號=發表

其ノ5 稀有ナル無胸無頭無心體ノ1例

産科婦人科紀要第24卷第10號=發表

其ノ6 左上肢畸形ノ1例=就テ

産科婦人科紀要第24卷第1號=發表

其ノ7 生後10箇月ノ幼女=發生セル外陰肉  
腫ノ1例

産科婦人科紀要第24卷第8號=發表

其ノ8 妊娠末期=於ケル兒頭ノ骨盤=對スル  
關係=就テ (五島 洋共著)

産科婦人科紀要第24卷第6號=發表

其ノ9 乳幼兒水分代謝研究

(吉矢久一、後藤元、三村茂夫、橋猛共著)

京都府立醫科大學雜誌第27卷第1號=發表

木村規矩志君

主論文

有毒「ガス」吸入ノ結締織細胞ニ及ボス作用ノ研究

第1編 「ベンツオール」ト「ガンリン」ガ「マウス」ノ鬆疎結締組織ニ及ボス毒作用ニ就テ (獨文)

オカジマ、フオリア、アナトミカ、ヤボニカ 第21卷第2號ニ發表

第2編 自動車「排出ガス」ト「燈用ガス」ガ「マウス」ノ皮下結締織細胞ニ及ボス影響 (獨文)

オカジマ、フオリア、アナトミカ、ヤボニカ 第21卷第2號ニ發表

參考論文

其ノ1 「マウス」ノ皮下結締織ノ細胞ノ死後變化ニ就テ (獨文)

オカジマ、フオリア、アナトミカ、ヤボニカ 第21卷第1號ニ發表

其ノ2 家兎ノ股動脈結紮後ノ下腿ノ皮下結締織細胞ノ變化 (獨文)

岡山醫科大學歐文業府第7卷ニ發表

其ノ3 鳥類、蛇、蛙ノ鬆疎結締織ノ細胞ニ就テ (獨文) (向畑十四郎共著)

オカジマ、フオリア、アナトミカ、ヤボニカ 第21卷第1號ニ發表

其ノ4 血流阻害時ノ種々組織ノ等電點ノ變化 (獨文)

オカジマ、フオリア、アナトミカ、ヤボニカ 第21卷ニ發表ノ豫定

小田醇太郎君

主論文

耳性化膿性軟腦膜炎ノ成立ニ關スル研究

第1編 耳性化膿性軟腦膜炎ニ於ケル錐體炎ノ病理ト其ノ意義

大日本耳鼻咽喉科會會報 第44卷 第3號

ニ發表

第2編 耳性化膿性軟腦膜炎ノ成立ニ就テノ研究

其ノ1 耳性化膿性軟腦膜炎ニ於ケル軟腦膜傳染經路ニ就テ

大日本耳鼻咽喉科會會報 第49卷 第1號

ニ發表

第3編 耳性化膿性軟腦膜炎ノ成立ニ就テノ研究

其ノ2 鼓室性迷路ノ危險性ニ就テ

大日本耳鼻咽喉科會會報 第49卷 第1號

ニ發表

第4編 耳性化膿性軟腦膜炎ノ成立ニ就テノ研究

其ノ3 鼓室性迷路炎ノ危險ニ關スル實驗的批判

大日本耳鼻咽喉科會會報 第49卷 第1號

ニ發表

參考論文

其ノ1 乳嘴突起炎手術後ニ於ケル創面分泌物成分細胞ノ消長ノ創面治療トノ關係

大日本耳鼻咽喉科會會報 第45卷 第7號

ニ發表

其ノ2 2箇月ニ互レル持續的腦脊髄液排出ニヨリ治癒セル耳性化膿性軟腦膜炎

耳鼻咽喉科臨牀第34卷 第3號ニ發表

其ノ3 臨牀上所謂「エプーリス」ノ形態ヲ以テ來タリン造血細胞腫ノ1例

耳鼻咽喉科臨牀第34卷 第5號ニ發表

其ノ4 口腔底蜂窠織炎1,2治驗例

岡山醫學會雜誌第51年 第7號ニ發表

越宗 正 君

主論文

急性腹膜炎ニ於ケル循環障礙ニ關スル實驗的研究 (邦文)

岡山醫學會雜誌第54年 第5號ニ發表

參考論文

- 其ノ1 肝臟=於ケル諸種藥物=ヨル Spermmechanismus = 就テ  
岡山醫學會雜誌第 54 年第 4 號=發表
- 其ノ2 內臟領域血管ノ血壓調節作用  
岡山醫學會雜誌第 54 年第 4 號=發表
- 其ノ3 後腹膜=原發セル稀有ナル Primäre maligne Deckzellengeschwulst ノ 1 例  
岡山醫學會雜誌第 50 年第 1 號=發表
- 其ノ4 胃癌穿孔治驗例  
グレンツゲビート第 13 年第 5 號=發表
- 其ノ5 Aleukaemische Lymphadenose ノ 2 剖檢例  
岡山醫學會雜誌第 51 年第 7 號=發表
- 其ノ6 ヘノツホ氏腹性紫斑病ノ 2 例(剖檢例)  
岡山醫學會雜誌第 54 年第 8 號=發表
- 其ノ7 腸間膜淋巴腺談腫ノ 1 例  
岡山醫學會雜誌第 54 年第 8 號=發表

片岡 穆君

主論文

- Chenodesoxychol 酸ノ生成機序=就テ(獨文)  
第1編 海猿肝臟中=於ケル Chenodesoxychol 酸ノ運命=就テ  
外字生化學雜誌第 34 卷第 1 號發表
- 第2編 海猿及ピ家雞肝臟中=於ケル Dehydrschenodesoxychol 酸ノ生化學的還元=就テ  
外字生化學雜誌第 34 卷第 1 號發表
- 第3編 羂體內=於ケル Chenodesoxychol 酸ノ運命=就テ  
外字生化學雜誌第 34 卷第 1 號發表
- 第4編 家兎及ピ海猿體內=於ケル 3-Oxy-17-Cholen 酸ノ運命=就テ  
外字生化學雜誌第 36 卷發表豫定
- 第5編 家兎體內=於ケル 3,7-Dioxy-12-Ketocholan 酸ノ運命=就テ

外字生化學雜誌第 36 卷發表豫定

參考論文

- 其ノ1 肉越幾斯ノ糖代謝=及ボス影響  
第1報 血糖=及ボス影響  
岡山醫學會雜誌第 52 年第 11 號發表
- 第2報 肝糖原質=及ボス影響  
岡山醫學會雜誌第 53 年第 10 號發表
- 其ノ2 沙魚及ピ飛沙魚ノ膽汁=就テ  
(塚本守久共著)  
外字生化學雜誌第 32 卷第 3 號發表

磯川 恕介君

主論文

- 副腎ノ研究  
第1編 副腎内神經分布=就テ  
岡山醫學會雜誌第 53 年第 5 號=發表
- 第2編 副腎ヲ中心トセル腹腔内自律神經ノ形態學的研究  
岡山醫學會雜誌第 54 年第 5 號=發表
- 第3編 副腎「ビタミンC」ノ研究 (第1回)  
岡山醫學會雜誌第 54 年第 8 號=發表
- 第4編 副腎「ビタミンC」ノ研究 (第2回)  
岡山醫學會雜誌第 55 年第 1 號=發表
- 第5編 副腎「ビタミンC」ノ研究 (第3回)  
岡山醫學會雜誌第 55 年第 2 號=發表

參考論文

- 其ノ1 原發性小腸間膜纖維腫 1 例  
(中村善亮, 磯川恕介共著)  
グレンツゲビート第 13 年第 3 號=發表
- 其ノ2 炭火中毒後=來レル錐體外路症候群特=突症狀著明ナル 1 例  
精神神經學雜誌第 43 卷第 7 號=發表
- 其ノ3 日本住血吸蟲病(片山地方)臨牀所見並=知見補遺  
(磯川恕介, 松田芳郎, 大林次彦共著)  
日本傳染病學會雜誌第 16 卷第 4 號=發表

其ノ4 多線性内分泌臟器障礙症ノ1例竝ニ本邦症例ノ統計ニ就テ

岡山醫學會雜誌第55年第2號ニ發表ノ豫定

吉 良 良 吉 君

主 論 文

流行性腦炎ノ對症療法

第1編 流行性腦炎患者ノ循環血液量ニ就テ  
岡山醫學會雜誌第53年第6號ニ發表

第2編 諸種強心劑加葡萄糖液又ハハロツク氏液ノ靜脈內點滴注入ニ就テ  
其ノ1 各症例  
岡山醫學會雜誌第53年第7號ニ發表

第3編 諸種強心劑加等張葡萄糖液或ハハロツク氏液ノ靜脈內點滴注入ノ效果

其ノ2 臨牀ノ效果ノ檢討  
岡山醫學會雜誌第53年第10號ニ發表

參考論文

其ノ1 島外性過血糖性糖尿病ノ1例

岡山醫學會雜誌第53年臨牀特輯第1號ニ發表

其ノ2 榮養障礙性「インフアンチリズムス」ノ1例 (林 富士郎共著)

岡山醫學會雜誌第53年第11號ニ發表

其ノ3 廣島縣下ニ發見セラレタル Kaschin-Beck 類似症ノ1例 (野々村太郎共著)

岡山醫學會雜誌第54年第3號ニ發表

其ノ4 最近14箇年間ノ結核性腦膜炎ノ入院患者52例ノ統計ノ臨牀觀察 (山路 谷典共著)

岡山醫學會雜誌第54年第6號ニ發表

其ノ5 網内系ノ流行性腦炎血中中和物質ニ及ボス影響 (高原劍二郎共著)

岡山醫學會雜誌第54年第7號ニ發表